



特集

・今夏も暑くなることが予想されています。
熱中症に気をつけましょう！

川崎市 環境情報

検索

No.585

今夏も熱中症に気をつけましょう！



暑くなり始める時期にも 注意が必要です

熱中症は暑さの厳しい7、8月に搬送者が増えますが、意外にも気温が上がり始める5、6月でも発生しています。体が暑さに慣れるまでは20℃程度の気温でも熱中症になってしまうことがあります。日頃から体調管理に気を付けるとともに、上手にエアコンを使い、まめに水分補給をするなどして、熱中症を予防しましょう。

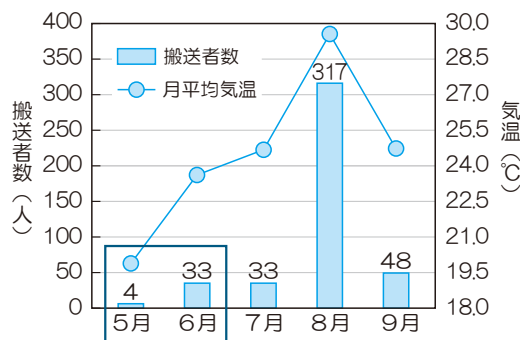


図 月別救急搬送者数(令和2年度)

熱中症警戒アラートが全国で実施されます

今夏※1から、熱中症の危険性が極めて高いと予想されるときに、環境省と気象庁が連携して全国の都道府県に「熱中症警戒アラート※2」の情報を発表します。

※1 令和2年度は、関東甲信地方で7月1日から10月28日の間試行実施。神奈川県内では20回発表

※2 暑さ指数(WBGT)が33℃を超えると予想された場合に発表

市では、熱中症警戒アラートについて「市防災メール」、
「ツイッター」等により周知を行います。



環総研SNSによる広報
(令和2年度試行時)



Twitter
@kawasaki_keri1



高齢者に特化した熱中症予防の取組

近年、市内の熱中症救急搬送者における高齢者の割合が増加しており、令和2年度は、熱中症救急搬送者の半数以上が高齢者であるため、環境総合研究所では高齢者に特化した熱中症対策に取り組んでまいります。

取組のイメージ

状況調査

- ・携帯用測定器により住環境の暑さを調査
- ・熱中症リスクの将来予測



普及啓発

- ・高齢者の集まるイベントを活かした普及啓発
- ・ごみ収集車を活用した普及啓発
- ・環境総合研究所での「ツイッター」発信等



問い合わせ：環境局環境総合研究所都市環境担当 TEL 276-8964 FAX 288-3156

スマートハウス補助金 ～創・省・蓄エネ機器の導入を応援します！～

市民の皆様の住宅（個人住宅・共同住宅）の創・省・蓄エネ機器導入等に対し、補助を行っています。

補助対象※1	補助金額
エネルギー管理装置（HEMS）	1万円
太陽光発電システム	2万円/kW（上限10万円）
家庭用燃料電池システム（エネファーム）	3万円
定置用リチウムイオン蓄電システム	1万円/kWh（上限10万円）
ピーク・トゥ・ホームシステム（V2H）	5万円（EV・PHV新規導入時加算有）
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）等※2	10万円/13万円
LCCM住宅※2	13万円
パワーコンディショナ メンテナンス※3	5万円
CASBEE戸建の評価結果「A」以上※2	5万円
開口部断熱※4	5万円又は経費の1/10の低い額
高効率照明※5	10万円又は経費の1/10の低い額



※1 HEMS等を含め、複数の機器等を組合せて導入した方が対象。 ※2 個人住宅のみ。
 ※3 太陽光発電設備の一部であり、設置後10年以上使用の場合。 ※4 共同住宅の専有部のみ。 ※5 共同住宅の共用部のみ。

令和3年4月1日から募集を開始し、先着順にて受け付けます（募集締切日：令和4年3月4日）。

補助の要件、申請方法、申請書類などの詳細については、下記ホームページを御確認ください。

<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000032302.html>

川崎市 スマートハウス補助金

検索

問い合わせ：環境局地球環境推進室 TEL 200-2514 FAX 200-3921

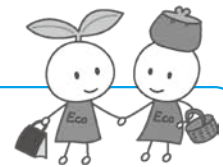
お知らせ

「スマートライフスタイル大賞」の募集を開始します！

市とCC川崎エコ会議では、市民や事業者等のCO₂削減に貢献する優れた取組を表彰する「スマートライフスタイル大賞」を実施しています。

次のとおり今年度の募集を開始しましたので、皆さまのご応募をお待ちしています。

- 募集期間 4月30日（金）から7月30日（金）まで
- 募集内容 家庭、学校、店舗、事業所及び団体等における省エネ・節電等のCO₂削減、地球温暖化対策につながる生活や事業活動の「実践」、教育資料の開発、情報の提供及び、学校・企業内における教育活動等の「普及啓発」に関する取組。
- 表彰 「最優秀賞」及び「優秀賞」等を選定し、10月開催予定のCC川崎エコ会議シンポジウムにて表彰します。
- 応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入し、環境局地球環境推進室<30tisui@city.kawasaki.jp>まで電子メールでお送りください。なお、応募用紙は市ホームページからダウンロードしてください。
- 令和2年度の主な受賞者
 最優秀賞：株式会社東急ホテルズ川崎キングスカイフロント東急REIホテル
 株式会社パスポート 社会福祉法人はぐるまの会（連名）
 優秀賞：富士通株式会社 川崎工場
 川崎市立東小倉小学校



こちらからダウンロード➡

問い合わせ：環境局地球環境推進室 TEL 200-3871 FAX 200-3921

メール 30tisui@city.kawasaki.jp



お知らせ

「低CO₂川崎ブランド」「川崎メカニズム認証制度」対象製品等を募集します!

市と産業支援団体等で構成される「低CO₂川崎ブランド等推進協議会」では、市内の優れた環境技術を活かした地球規模での温室効果ガスの排出削減を推進するため、CO₂排出量の削減に貢献する製品・技術等を認定する「低CO₂川崎ブランド」と、削減量を認証する「川崎メカニズム認証制度」を実施しています。

認定・認証した製品・技術、サービスの普及促進に向け、製品等について積極的にPRを行っています。ぜひご応募ください。

- 募集期間 2021年5月6日から7月9日まで
 - 個別相談会 6月1日(火) 14時開催
- ※申請に向けて、温室効果ガスの排出量の計算方法や申請書の書き方などについて、専門家が相談にのります。ご希望の方は下記電話番号またはメールアドレス宛にご連絡ください。

～製品等のPR例(2020年度実績)～

製品等紹介パンフレットの作成・配架、協議会ホームページの更新
製品等紹介ポスターの作成・掲示(市内主要駅、市関連施設など)
動画放映(アゼリアビジョン、南武線車内トレインチャンネルなど)



低CO₂川崎ブランド

検索



問い合わせ：低CO₂川崎ブランド等推進協議会事務局(環境局地球環境推進室)

TEL 200-3872 FAX 200-3921 メール 30titan@city.kawasaki.jp

お知らせ

脱炭素アクションみぞのくち 推進会議の会員を募集します!



市は、CO₂排出実質ゼロや使用電力の再生可能エネルギー100%への転換を目指し、2050年の脱炭素社会の実現に向けて脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定しました。

本戦略では、脱炭素化都市の身近な取組の具体像を示すショーケースとして脱炭素モデル地区『脱炭素アクションみぞのくち』を設置し、脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施することで、市民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルへの行動変容を促進していきます。この取組を推進するため、脱炭素アクションみぞのくち推進会議を設置し、市と一緒に脱炭素社会の実現に向けて取組を推進する会員を募集します。



【脱炭素アクションみぞのくちイメージ】



問い合わせ：環境局地球環境推進室 TEL 200-3871 FAX 200-3921
メール 30tisui@city.kawasaki.jp

お知らせ

「多摩・三浦丘陵の市民と緑をつなぐシンポジウム」を開催



多摩丘陵及び三浦丘陵に係る13自治体では、広域連携により緑と水景の保全・活用・創出・再生に関わる取組を行っています。その取組の1つとして、涌井史郎氏(東京都市大学教授)をコーディネーターに迎え、緑と水景のネットワークづくりや広域連携について、プレゼンテーションやディスカッションを行います。第4回目となる今年は、会場のほかホームページでライブ配信を実施します。ふるってご参加ください。

- 開催日程：令和3年7月3日(土) 14:00~17:00
(開場・受付13:30、開始14:00、終了17:00)
- 方法/定員：①川崎市総合自治会館 事前申込要、定員100名(ホール・サブ会場)
②ライブ配信 事前申込不要、定員無
- 申込方法：①多摩・三浦丘陵広域連携会議ホームページ www.tama-miurahills.com **多摩・三浦トレイル** 検索
②FAX(申込書を(株)URリンケージ、03-6803-6239宛て送付)
申込期間：令和3年6月14日(月)~6月25日(金)
※申込書は区役所等で配布
参加自治体：相模原市・八王子市・日野市・多摩市・稲城市・町田市・横浜市
鎌倉市・逗子市・葉山町・横須賀市・三浦市・川崎市(順不同)



【過去のシンポジウムの様子】

問い合わせ：建設緑政局みどりの協働推進課 TEL 200-2365 FAX 200-3973



浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(2021年3月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場において、敷地境界の空間放射線量（ガンマ線）及び内水の放射能濃度（放射性セシウム濃度）について測定を行っています。3月の測定結果は次のとおりです。詳しくは市ホームページをご覧ください。

	測定値	測定日	基準等	測定頻度
空間放射線量 (単位: $\mu\text{Sv/h}$)	0.02 ~ 0.04 $\mu\text{Sv/h}$	3月2日~3月30日	国の基準値 0.23 本市の目安値 0.19	週1回
埋立処分場内水 (単位: Bq/L)	3.1 Bq/L (検出下限値: 1.0)	3月9日	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	月1回

●詳しくはホームページをご覧ください。



問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923



大気環境 (2021年3月)

- 二酸化窒素 (NO₂): 一般局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。自排局は全局で日平均値が0.06ppm以下でした。
- 浮遊粒子状物質 (SPM): 一般局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。自排局は全局で環境基準の短期的評価に適合しました。
- 微小粒子状物質 (PM_{2.5}): 一般局は97%以上の日数で日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。自排局は97%以上の日数で日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下でした。

		二酸化窒素(NO ₂)			浮遊粒子状物質(SPM)			微小粒子状物質(PM _{2.5})			
		月平均値 (ppm)	日平均値が0.04ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppmを超過した日数(日)	日平均値が0.06ppm以下の日数割合(%)	月平均値 (mg/m ³)	環境基準を超過した日数(日)	環境基準に適合した日数の割合(%)	月平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過した日数(日)	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の日数割合(日)
一般環境 大気測定局	大師	0.017	0	0	100	0.016	0	100	10.6	0	100
	田島	0.016	0	0	100	0.018	0	100	14.0	1	97
	川崎	0.016	0	0	100	0.013	0	100	12.1	1	97
	幸	0.014	0	0	100	0.015	0	100	9.0	0	100
	中原	0.013	0	0	100	0.014	0	100	9.4	0	100
	高津	0.013	0	0	100	0.015	0	100	11.3	0	100
	宮前	0.012	0	0	100	0.015	0	100	8.5	0	100
	多摩	0.011	0	0	100	0.012	0	100	----	----	----
	麻生	0.009	0	0	100	0.014	0	100	9.0	0	100
平均	0.013	—	—	100	0.015	—	100	10.5	—	99	
自動車 排出ガス 測定局	池上	0.030	3	0	100	0.020	0	100	12.7	0	100
	日進町	0.017	0	0	100	0.013	0	100	10.2	0	100
	富士見公園	0.019	0	0	100	0.018	0	100	12.5	1	97
	遠藤町	0.024	0	0	100	0.013	0	100	----	----	----
	中原平和公園	0.015	0	0	100	0.014	0	100	9.0	0	100
	二子	0.025	1	0	100	0.014	0	100	11.8	1	97
	宮前平駅前	0.015	0	0	100	0.016	0	100	9.5	0	100
	本村橋	0.014	0	0	100	0.014	0	100	8.6	0	100
	柿生	0.013	0	0	100	0.013	0	100	12.1	0	100
	平均	0.019	—	—	100	0.015	—	100	10.8	—	99

注1：本データは最終確定値ではありませんので、後日修正することがあります。

注2：本表中のSPMにおける環境基準評価は、当月の測定結果について短期的評価を行ったものです。

環境基準

- 1 二酸化窒素：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下
- 2 浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下
- 3 微小粒子状物質：1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

●詳しい測定データは、市のホームページまたは下記までお問い合わせください。



問い合わせ：環境総合研究所地域環境・公害監視担当 TEL 276-9096 FAX 288-3156

公害病被認定患者数1,181人
(認定者総数6,054人—認定失効者数4,873人)
認定失効者数4,873人
(治癒等2,102人+死亡者数2,771人)
令和3年3月末現在 (健康福祉局)

発行編集
川崎市環境局総務部企画課
電話 044 (200) 2386 (直通)
E-mail 30kikaku@city.kawasaki.jp



メールニュース
かわさきへ



大豆インキで印刷しています。